

第3節 成果指標

計画の見直しから5年後の住まいのあるべき姿の実現に向けて、施策の目標達成状況を分かりやすく示すために、第2節にあげた施策の方向性ごとに重要度の高い施策を選び、成果指標と目標値を定めます。そして、住生活に関わる多様な主体の協働と参画により、目標値の達成をめざします。

★：新たに追加した項目
☆：数値を変更した項目

方向性1. 安全な住まい・住環境を実現する			
項目	現状値		目標値
★ 集合住宅の定期報告率	85% 【H24年度】		90% 【H32年】
住まいの耐震化率	84% 【H15年】	91% 【H25年】	95% (※1) 【H32年】
★ 密集市街地におけるまちなか防災空地の数	21件 【H24～26年度】		40件 【H28～32年度】
★【補完的指標】			
<ul style="list-style-type: none"> ・すまいの耐震改修工事補助（戸建）件数 ・家具固定補助・専門家派遣件数 			

※1 耐震改修促進計画による

地震や火災等の災害に強い住まいを実現する指標として、「集合住宅の定期報告率」、「住まいの耐震化率」、「密集市街地におけるまちなか防災空地の数」を設定し、住まいの適法性の確保と耐震性、防災・安全性の向上をめざします。

方向性2. 居住の安定を確保する			
項目	現状値		目標値
高齢者（65歳以上の者）の居住する住宅のバリアフリー化率（※2）	45% 【H20年】	47% 【H25年】	☆ 55% 【H32年】
住宅確保要配慮者が円滑に入居できる民間賃貸住宅の確保（住宅確保要配慮者の入居を受け入れる家主の割合）（※3）	67% 【H19年度】	77% 【H26年度】	90% 【H32年】
★【補完的指標】			
<ul style="list-style-type: none"> ・最低居住面積水準未滿世帯の割合 ・共同住宅バリアフリー改修補助件数 ・バリアフリー住宅改修補助件数 ・サービス付き高齢者向け住宅登録戸数 			

※2 バリアフリー化：2箇所以上の手すり設置または屋内の段差を解消していること

※3 神戸市民間賃貸住宅実態調査結果で、高齢者、障がい者、外国人、子育て世帯のいずれかの世帯を「受け入れている」、「受け入れてもよい」と回答した家主の割合

すべての人が使いやすい良質な住まいの供給や住まいのバリアフリー化を積極的に推進する指標として、「高齢者の居住する住宅のバリアフリー化率」を設定し、高齢者等に配慮した住宅の確保を促進します。

また、住宅確保要配慮者については、市営住宅、公的賃貸住宅及び民間賃貸住宅それぞれの住宅セーフティネット機能の充実を図る必要がありますが、その中でも、民間賃貸住宅は入居が進んでいないことから、「住宅確保要配慮者の入居を受け入れる家主の割合」を設定し、円滑に入居できる民間賃貸住宅の確保を促進します。

方向性3. 環境にやさしい住まい・住まい方を実現する			
項目	現状値		目標値
一戸建ての新築住宅に占める長期優良住宅の割合	26% 【H21年度】	32% 【H26年度】	50% 【H32年】
一定規模以上の新築共同住宅に占めるCASBEE神戸（※4）の評価結果が標準以上の割合	81% 【H19～21 年度平均】	81% 【H26年度】	100% 【H32年】
一定の省エネルギー対策を施した住宅の割合	二重サッシまたは複層ガラスの窓あり（一部およびすべての窓）		
	13% 【H20年】	16% 【H25年】	40% 【H32年】
	★ 太陽光を利用した発電機器あり		
	1.7% 【H25年】		3% 【H32年】
★【補完的指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭部門の世帯当たりのエネルギー消費量（5年間の平均値を比較） ・神戸市住宅用太陽光発電システム設置補助件数 ・神戸市家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置補助件数 			

※4 CASBEE神戸：一定規模以上の建築物について、建築主が自ら室内・室外環境や耐震性、耐用性などの「品質・性能」、省エネ・資源リサイクル性・敷地外環境などの「環境負荷」の両面から、建築物の環境性能を評価し、市に届け出る制度

住まいの長寿命化や省エネルギー化を積極的に推進する指標として、「一戸建ての新築住宅に占める長期優良住宅の割合」や「一定規模以上の新築共同住宅に占めるCASBEE神戸の評価結果が標準以上の割合」、「一定の省エネルギー対策を施した住宅の割合」を設定し、環境にやさしい住まいの実現をめざします。

方向性4. ニーズにあった住まいを選べる仕組みを創り出す

項目	現状値		目標値
新築住宅の住宅性能表示（※5）実施率	41% 【H21年度】	47% 【H25年度】	60% 【H32年】
既存住宅の流通戸数の新築を含めた全流通戸数に対する割合	20% 【H20年】	27% 【H25年】	30% 【H32年】
既存住宅ストック全体に占める空家の割合	13.5% 【H20年】	13.1% 【H25年】	☆ 12.5% 【H32年】

★【補完的指標】

- ・近畿圏不動産流通機構に成約報告があった全流通戸数に対する既存住宅流通戸数の割合
- ・マイホーム借上げ制度（JTI）の利用件数
- ・神戸市の施策（事業・補助等）による既存住宅の除却・活用の件数

※5 住宅性能表示：構造の安全、火災時の安全、劣化の軽減、温熱環境、防犯など、住宅の性能を統一の基準で比較できるようにした表示のこと

住み替えがスムーズにできる環境づくりや空家活用を推進する指標として「新築住宅の住宅性能表示実施率」や「既存住宅の流通戸数の新築を含めた全流通戸数に対する割合」、「既存住宅ストック全体に占める空家の割合」を設定し、ニーズにあった住まいを選べる仕組みを創り出します。

方向性5. 人と人とのつながりを育む住まい・住まい方を支援する

項目	現状値		目標値
住環境に対する満足度	65% 【H20年】	74% 【H25年】	☆ 80% 【H32年】
★ 近隣の人たちやコミュニティとの関わりについての満足度	65% 【H25年度】		70% 【H32年】
分譲マンション長期修繕計画の策定率	85% 【H18年度】	—	90% 【H32年】
★ すまいるネットがDMによって情報提供を行うことができる管理組合の割合	89% 【H27年度】		95% 【H32年】

★【補完的指標】

- ・マンション管理アドバイザー派遣実施件数
- ・住環境の維持・向上に資する協定を結んでいる地区数（※6）

※6 建築協定有効地区数、まちづくり協定地区数、景観形成市民協定地区数、近隣住環境計画地区数の合計

活魅力ある住環境づくりを推進する指標として、「住環境に対する満足度」や「近隣の人たちやコミュニティとの関わりについての満足度」を設定し、また、分譲マンションの円滑な管理・運営を推進する指標として、「分譲マンションの長期修繕計画の策定率」や「すまいるネットがDMによって情報提供を行うことができる管理組合の割合」を設定し、人と人とのつながりを育む住まい・住まい方を支援していきます。

方向性6. すまいるネットを核とした住まい手の総合支援		
項目	現状値	目標値
すまいるネット総利用者数 (※7)	約 12,000 人 【H21 年度】	約 13,500 人 【H26 年度】
★ すまいるネット認知度	35% 【H27 年度】	45% 【H32 年】
★ 学校における住教育授業新規プログラム採用件数	11 件 【H24～26 年度】 (年間平均 3.7 件)	23 件 【H28～32 年度】 (年間平均 4.6 件)
★【補完的指標】 ・ハウジングアドバイザー活用件数 ・すまいるネットホームページアクセス件数		

※7 総利用者数：すまいるネットが行う相談と普及啓発の利用者数

すまいるネットの住まいに関するプラットホーム機能の強化の指標として、「すまいるネット総利用者数」を設定し、すまいるネットの認知度を向上する指標として、「すまいるネット認知度」を設定し、住まい手の総合支援を実現することをめざします。また、住教育支援を充実する指標として「学校における住教育授業新規プログラム採用件数」を設定し、将来の良き住まい手の育成を支援していきます。